

この度は、「領域別既出問題集〔改訂第 10 版〕⑥病態・薬物治療」をご購入いただき、誠に有難うございます。

本書について、以下のとおり補足及び訂正させていただきます。

ご迷惑をお掛け致しまして申し訳ございませんが、何卒宜しくお願い申し上げます。

薬学ゼミナール編集 領域別既出問題集〔改訂第 10 版〕⑥病態・薬物治療 補足及び訂正一覧表

	訂正前	訂正後
P126 問 83 解説 選択肢 5 1 行目	シクロスポリンは、 <u>NF-AT の脱リン酸化を抑制して IL-2 の産生を抑制することで</u> シクロフィリンと結合し、……	シクロスポリンは、シクロフィリンと結合し、……

下表は、2021 年 12 月の医薬品添付文書改訂に伴う追補となります。

	訂正前	訂正後
P217 問 140 問題文	子宮内膜症の病態と治療に関する記述のうち、正しいのはどれか。2 つ選べ。	子宮内膜症の病態と治療に関する記述のうち、 <u>誤っているのは</u> どれか。2 つ選べ。
P217 問 140 解説 選択肢 4	誤 治療薬として、低用量黄体ホルモン・卵胞ホルモン配合剤、GnRH (LH-RH) アゴニストであるリュープロレリン酢酸塩やゴセレリン酢酸塩など、黄体ホルモン製剤であるジェノゲストなどが用いられる。GnRH アンタゴニストであるガニレリクス酢酸塩は、調節卵巣刺激下における早発排卵の防止に使用される。	正 GnRH アンタゴニストであるレルゴリクスは、下垂体の GnRH 受容体に対する選択的な拮抗作用を示すことで、下垂体からの性腺刺激ホルモン分泌を抑制し、卵巣からのエストラジオールなどの性ホルモン分泌を阻害するため、子宮内膜症に基づく疼痛の改善に用いられる。
P217 問 140 解答	3、5	1、2